

<p>クラス：</p>	<p style="text-align: center;"><b>聴く・話すための発音！</b>  <b>Pronunciation for Listening and Speaking</b>  <b>- よりスムーズなコミュニケーションのために -</b>  <b>EPrM-62AH</b></p>
<p>曜日：</p>	<p><b>Saturday (隔週)</b></p>
<p>時間</p>	<p><b>14:30-16:20</b></p>
<p>レベル：</p>	<p><b>中級</b></p>
<p>講師：</p>	<p><b>Ms.大石美幸</b></p>
<p>目的：</p>	<p>英語が聞き取れない、話せない理由の一つは、「英語の音体系」、簡単にいうと、「英語の音の特徴と仕組み」を知らないことにあると思います。「日本語の音体系」で英語を聴き話そうとしても限界があり、この違いに気づき乗り越えることで、発音のみならず、聞き取り力もアップすると考えます。</p> <p>本講座は「発音のための発音」を超え、よりスムーズなコミュニケーションを目指して、「英語の音の特徴と仕組み」を、四つの視点、a) 個々の音（音素）、b) 語強勢、c) 文強勢、d) イントネーションから学んでいきます。</p> <p>これら様々な側面から「英語の音」を学び、より「英語らしい音、リズム、メロディー」を身につけることを目的とします。「自分で英語らしい音を発する」ようになると、自信もつき、また聞き取り力も上がり、結果コミュニケーションがより円滑になります。大切なことは、「ネイティブスピーカーのように発音すること」ではなく、「一回で通じる相互意思疎通」と、それによって生まれる「自信」です。</p>
<p>授業内容：</p>	<p>上記四視点で構成されたテキストに沿い、英語の音の仕組みを学び、発音練習で身に付けていきます。</p> <p>a) 英語は日本語と違い、音と綴りが一致しません。そのことを理解したうえで、全母音、全子音の各音（音素/phonemes）を学び、身につけます。</p> <p>b) 音節 (syllables)、強母音 (strong vowels) と弱母音 (weak vowels) の概念を理解し、個々の音が語になったときの変化を学び、身につけます。</p> <p>c) 個々の音が「句/phrase」や「文/sentence」になるとどう変化するかを学び、文内の句の区切り方とつなげ方、英語らしい強弱のリズム、品詞による強弱音分別の仕組みを学びます。</p> <p>d) 英語会話に用いられる抑揚 (intonation) のパターンとそれらが担うニュアンスの違いを理解し、目的に合った表現ができるよう目指します。</p> <p>単調になりがちな発音練習ではなく、実際の会話に登場する語彙・表現で練習します。発音学習には欠かせない「音素記号」も同時に学んでいきます。</p>
<p>教材：</p>	<p><i>English Pronunciation in Use, Elementary</i> ; Cambridge University Press ('Elementary' とありますが、中級以上の内容です。)</p>
<p>備考：</p>	<p>冬の続きから始めます。</p>